

球磨工業高等学校 2学年_全科「国語総合」シラバス（1～2月分）

1. 単元 《漢文》『論語』

2.単元の目標	3.評価規準
<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『論語』の基礎事項と本文中の句法を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『論語』を読み解き、現代にも通じる孔子の考え方に気付く。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代中国と現代日本の思考の共通する部分と異なる部分に気付かせ、興味関心を持つ。 	<p>【知識および技能】</p> <p>①『論語』の基礎事項と本文中の句法を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>②『論語』を読み解き、現代にも通じる孔子の考え方に気付くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>③古代中国と現代日本の思考の共通する部分と異なる部分に気付かせ、興味関心を持てる。</p>

4.授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価基準
第1回	前単元の復習	1	『卒業ホームラン』の復習を行う。 《方法》復習プリントの問題演習を行い、Classroomの解答を見て答え合わせを行う。	プリントの提出	
第2回	『論語』の基礎事項について押さえる	2	・『論語』について既習の知識をまとめる。 ・『論語』の基礎事項について押さえ、理解する。 《方法》 授業プリントの内容を講義、動画を視聴してまとめる。	プリントの提出	①
第3回	「学問」について学ぶ	3	・『論語』の「学問」についての漢文を読解し、句法と現代語訳を理解する。	プリントの提出	①・②
		4	《方法》 授業プリントの内容を講義、動画を視聴してまとめる。		
第4回	「仁」について学ぶ	5	・『論語』の「仁」についての漢文を読解し、句法と現代語訳を理解する。 《方法》 授業プリントの内容を講義、動画を視聴してまとめる。	プリントの提出	①・②
第5回	『論語』のまとめ・復習	6	・学んだ内容を復習し、現代に結びつく考え方に ついて自分の意見を書く。 《方法》 授業プリントによるまとめと意見の記入（作文）	プリントの提出 Forms ミニテスト	②・③

球磨工業高校 2 学年 「現代社会」 シラバス (3 学期分散登校期間分)

期 間 1 月 2 8 日 (金) ~ 2 月 1 0 日 (木)

使用教材 教科書：改定版 高等学校 現代社会 (数研出版)

資料集：ライブ! 現代社会 2 0 2 1 (帝国書院)

1. 単元 第 2 節 日本国憲法と基本的人権 (6) 日米安保体制と近年の防衛問題 (p92~93)

第 3 節 日本の政治機構 (1) 国会のしくみと役割 (p94~95)

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <p>①教科書や資料集をもとに、日米同盟の変遷について理解する。</p> <p>②教科書や資料集をもとに、国会のしくみについて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>③理解を深めるために、資料集やインターネット等の複数の資料を活用する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>④冷戦終結後の世界状況の中で、これまで日本が行ってきたことや、これから出来ることはどのようなことがあるか考える。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>①教科書や資料集をもとに、日米同盟の変遷について理解することができる。</p> <p>②教科書や資料集をもとに、国会のしくみについて理解することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>③複数の資料を用いながら、単元の問いに対する答えを導くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>④冷戦終結後の世界状況の中で、これまで日本が行ってきたことや、これから出来ることはどのようなことがあるか考えることができる。</p>

※今回の分散登校期間における授業では、①・②及び③の評価規準を主とする。

4. 授業計画 (以下は 1/28~2/10 に実施される現代社会の授業 4 回分の計画です。既に終わっている範囲は次回以降の部分を行うこと)

No	学習項目	授業回	学 習 内 容	評 価 方 法	評価規準
1	日米安保体制と近年の防衛問題	1 時間目	<p>●プリント No.10<日米安全保障条約>の空欄穴埋めに取り組む。</p> <p>・参考：教科書 p92~93、資料集 p171~182、インターネット等</p> <p>★登校している生徒は、内容の確認及び解答解説を行う。</p>	<p>●プリントの取り組み状況(登校時に確認)</p> <p>●確認テスト(単元終了後)</p>	① ③
		2 時間目	<p>●プリント No.10<自衛隊の国際協力と海外派遣><日本の安全保障の変容>の空欄穴埋めに取り組む。</p> <p>・参考：教科書 p92~93、資料集 p171~182、p295~296、インターネット等</p> <p>★登校している生徒は、内容の確認及び解答解説を行う。</p>	<p>●プリントの取り組み状況(登校時に確認)</p> <p>●確認テスト(単元終了後)</p>	① ③ ④
		課題	<p>●確認テスト (Google Form)</p> <p>・プリント終了後、確認テストを実施する。</p>	●確認テスト	①

2	国会のしくみと役割	1時間目	<p>●プリント No.11<国民主権と議会制民主主義><国会の地位と構成>の空欄穴埋めに取り組む。</p> <p>・参考：教科書 p94～95、資料集 p131～138、インターネット等</p> <p>★登校している生徒は、内容の確認及び解答解説を行う。</p>	<p>●プリントの取り組み状況（登校時に確認）</p> <p>●確認テスト（単元終了後）</p>	②
		2時間目	<p>●プリント No.11<国会の権限><国会の現状と改革>の空欄穴埋めに取り組む。</p> <p>・参考：教科書 p94～95、資料集 p131～138、インターネット等</p> <p>★登校している生徒は、内容の確認及び解答解説を行う。</p>	<p>●プリントの取り組み状況（登校時に確認）</p> <p>●確認テスト（単元終了後）</p>	② ③
		課題	<p>●確認テスト（Google Form）</p> <p>・プリント終了後、確認テストを実施する。</p>	●確認テスト	②

登校しない日の授業について

- ・プリントの空欄の穴埋めを進めてください。
- ・授業の時間には必ず現代社会のクラスルームを開いておいてください。
- ・授業中に簡単な質問をクラスルームに提示するので必ず応答（コメント）してください。
※この質問は出席確認用です。コメントの内容で評価をするものではありません。
- ・確認テストの時は、回答が終わるまで教科書や資料集等は閉じておいてください。（カンニング禁止）
- ・No.11のプリントまで終わった場合は、No.12、No.13のプリントを進めてください。

※その他不明な点があれば、登校時に直接問い合わせてください。（クラスルーム等で質問をしても構いませんが、全てに対応できない可能性があります。）

球磨工業高等学校 2 学年「数学Ⅱ」シラバス（1～2月分）

1. 単元 5章 微分と積分 3節 積分

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不定積分や定積分の意味を理解する. 関数の定数倍や和・差の不定積分や定積分の値を求める事ができる. <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 微分と積分の関連性に着目できる. <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積分法の意味に関心をもつことができる. 	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 不定積分や定積分の意味を理解する事ができる. 関数の定数倍や和・差の不定積分や定積分の値を求める事ができる. <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 微分積分の関連性に着目し計算できるようになる. <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 計画を立て, 実施し, 取組を振り返る.

4. 授業計画 【登校→登校日, 家庭→家庭学習】

	学習項目		学習内容	評価方法	評価規準
第1回	*不定積分 和・差 不定積分 教科書 P207～210 WRITE 問題集 P126～128	登校	・教科担当者の説明を聴き, 教科書を熟読し問題集を解く.	教科書の取り組み状況	① ②
		家庭	・WRITE 問題集 P 1 2 6～1 2 8 (※370 を除く)を解く ・F o r m s を解く	問題集の取り組み状況	④
第2回	*定積分 教科書 P 211～212 WRITE 問題集 P 129	登校	・教科担当者の説明を聴き, 教科書を熟読し問題集を解く.	教科書の取り組み状況	③
		家庭	・WRITE 問題集 P 1 2 9 ・F o r m s を解く	問題集の取り組み状況	④
第3回	*定積分の公式 教科書 P 213～214 WRITE 問題集 P 130～131	登校	・教科担当者の説明を聴き, 教科書を熟読し問題集を解く.	教科書の取り組み状況	①
		家庭	・WRITE 問題集 P 130～131 (※376. を除く) ・F o r m s を解く	問題集の取り組み状況	④

【注意】Forms は「数学Ⅱ クラスルーム」にあります

【提出〆切】WRITE 問題集：学年末考査終了日に提出、Forms：2/10(木)18:00まで

球磨工業高等学校 2 学年_全科「物理基礎」シラバス (1/28-2/10)

1. 単元 (1) 仕事の原理、仕事率 (2) 運動エネルギーと位置エネルギー

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の原理および仕事率を理解する。 ・運動エネルギーと重力による位置エネルギーを理解する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりで利用されている道具について、仕事の原理を用いて利点を表現する。 ・運動エネルギーや位置エネルギーの増減に関する物理量を判断する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の生徒の考えを取り入れながら、学びを深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①仕事の原理および仕事率を理解できる。 ②運動エネルギーと重力による位置エネルギーを理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③身のまわりで利用されている道具について、仕事の原理を用いて利点を表現できる。 ④運動エネルギーや位置エネルギーの増減に関する物理量を判断できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤他の生徒の考えを取り入れながら、学びを深めることができる。

4. 授業計画

授業の進め方

- (1) 授業プリント（記入用）、演習プリント（問題）、演習プリント（解説）の3種類を配付します。
- (2) Google Meet で授業を行いますので、授業プリントに記入したり miro で他の生徒の考えを取り入れながら学習します。
- (3) 演習プリントで、学んだ内容を練習する。
- (4) 演習プリント裏面の解説を見ながら丸をつけ、間違いやわからないところは解説を読んで理解する。
- (5) Google Classroom で質問に回答することで出欠確認とします。

5. タイムスケジュール

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	仕事の原理、仕事率	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ Google Classroom から Meet に入室し教師の指示に従い授業を受ける。 ・ 教科書 P. 60-61 ・ 授業プリント NO. 22 	クラスルームの質問への回答	① ⑤
第2回	仕事の原理、仕事率	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ Google Classroom から Meet に入室し教師の指示に従い授業を受ける。 ・ 前時に学習した内容の調べ学習を、ジャムボードへまとめる。 ・ miro でジャムボードを一覧しながら学びを深める。 	ジャムボードの完成 クラスルームの質問への回答	③ ⑤
第3回	運動エネルギーと位置エネルギー	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ Google Classroom から Meet に入室し教師の指示に従い授業を受ける。 ・ 教科書 P. 60-61 ・ 授業プリント NO. 22 	クラスルームの質問への回答	② ⑤
第4回	運動エネルギーと位置エネルギー	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ Google Classroom から Meet に入室し教師の指示に従い授業を受ける。 ・ 前時に学習した内容の調べ学習を、ジャムボードへまとめる。 ・ miro でジャムボードを一覧しながら学びを深める。 	ジャムボードの完成 クラスルームの質問への回答	④ ⑤

球磨工業高校 2 学年「体育」シラバス (1/28～2/10)

1. 単元 (1) 選択球技 (2) 体育理論

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題を積極的に取り組む。健康・安全を理解し運動に取り組む。 <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の仕方を考え、工夫する。 <p>【運動の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各運動種目の動きを身に付ける。 <p>【知識・理解】</p> <p>運動やスポーツの効果的な学習の仕方を理解する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①課題を積極的に取り組むことができる。 ②健康・安全を理解し運動に取り組むができる。 <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③学習の仕方を考え、工夫できる。 <p>【運動の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④状況に応じた動きや対応をすることができる。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤運動やスポーツの効果的な学習の仕方を理解できる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 自宅	・体育理論 (選択球技)	1	選択球技の「おいたちと発展」 「競技特性」「ルールと審判法」を学習する。 (アクティブスポーツを参考) 部屋でできるトレーニング	課題点検 (後日登校時に) Formsによる取組アンケート	① ③
第2回 登校	・体育理論 (選択球技)	2	選択球技の「おいたちと発展」 「競技特性」「ルールと審判法」を学習。	課題点検 授業観察	① ③
第3回 自宅	・体育理論 (選択球技)	3	選択球技の「おいたちと発展」 「競技特性」「ルールと審判法」を自学。 (アクティブスポーツを参考) 部屋でできるトレーニング	課題点検 (後日登校時に) Formsによる取組アンケート	① ③
第4回 登校	・選択球技	4	選択球技 (バスケット・バレー・ハンドボール・サッカー・ソフトボール)	授業観察 技能テスト	② ④ ⑤

※分散登校により第1回と第2回、第3回と第4回が入れ替わる生徒もいる。

球磨工業高校 2 学年「保健」シラバス (1/28~2/10 分)

1. 単元 (1) 社会生活と健康

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【関心・意欲・態度】 健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組む。</p> <p>【思考・判断】 健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断する。</p> <p>【知識・理解】 健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付ける。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ①健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組むことができる。</p> <p>【思考・判断】 ②健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断することができる。</p> <p>【知識・理解】 ③健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けることができる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 自宅	7 働くことと健康 (p 104. 105) 8 労働災害と健康 (p 106. 107) 9 健康的な職業生活 (p 108. 109)	1	・教科書を参考にノート P96・98・100 を解く。 1・2 学期に学んだことの復習。	Forms による取組アンケート 課題 (ノート)	① ②
第2回 登校	8 労働災害と健康 (p 106. 107) 9 健康的な職業生活 (p 108. 109)	2	・説明を聞く。 ・必要事項をノートにまとめる。	授業観察 課題点検	③

※分散登校により第1回目と第2回目が入れ替わる生徒もいる。

球磨工業高等学校 2 学年__全科「コミュニケーション英語Ⅱ」シラバス(1~2月分)

1. 単元 (1) 教科書 Lesson5 The High school Student Restaurant

2. 単元の目標	3. 評価規準
【関心・意欲・態度】 ・職業について関心を持ち、積極的に内容に取り組む。 【表現の能力】 ・It is ~to... (動詞の原形) を用いて、正しい文を書く。 【理解の能力】 ・本文中の代名詞が指す内容や注意すべき意味について理解する。 【知識・理解】 ・It is ~to... (動詞の原形) の基本的な用法を理解している。	【関心・意欲・態度】 ①職業について関心を持ち、積極的に内容に取り組むことができる。 【表現の能力】 ②It is ~to... (動詞の原形) を用いて、正しい文を書くことができる。 【理解の能力】 ③本文中の代名詞が指す内容や注意すべき意味について理解できる。 【知識・理解】 ④It is ~to... (動詞の原形) の基本的な用法を理解できる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	場所	学習内容	評価方法	評価規準
1	Lesson5-1 50ページ	学校	(1) 教科書音読 (2) 教科書51ページ (3) Lesson5-1 プリント (4) forms で英作文を提出する。	テスト提出物 授業態度	① ② ③ ④
		家庭	(1) 校内検定プリント(12回)	提出物	
2	Lesson5-2 52ページ	学校	(1) 教科書音読 (2) 教科書53ページ (3) Lesson5-2 プリント (4) (宿題/classroom) 音読テスト	テスト提出物 授業態度	① ② ③ ④
		家庭	(1) 本文書きプリント (2) 提出物確認 ①教科書(51ページ、53ページ)、 ②Lesson5-1 プリント ③Lesson5-2 プリント、 ④校内検定プリント ⑤本文書きプリント	提出物	

※学年末考査内容(予定)

- (1) チャンクで英単語(Step17、Step18)
- (2) Lesson5-1(教科書50~51ページ)とそのプリント
Lesson5-2(教科書52、53ページ)とそのプリント
- (3) 校内検定12回

※【提出物について】

- (1) 教科書、プリントの提出物は学年末考査の英語のテストが実施される日に、英語係に提出。
- (2) 冬休みの宿題(ドリルノット)の未提出、再提出は、登校時に提出。最終締切、提出方法は(1)と同じ。

球磨工業高等学校 2 学年_全科「家庭基礎」シラバス（1～2月分）

1. 単元 子どもと共に育つ ①子どもの育つ力を知る

2. 単元の見どころ	3. 評価規準
<p>【関心・意欲・態度】 ・子どもの心身の発達について関心を持ち、子どもを支える大人の役割を考える。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・遊びの重要性を知り遊び環境がもたらす課題について考える。</p> <p>【技能】 ・子どもの発達に応じて適切に関われるようになる。</p> <p>【知識・理解】 ・子どもの心身の発達段階を知る。 ・子どもの健全な発達を支える大人や遊びの役割を理解する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ①子どもの心身の発達について関心を持ち、子どもを支える大人の役割を考えようとしている。</p> <p>【思考力・判断・表現】 ②遊びの重要性を知り遊び環境がもたらす課題について考えを深めることができる。</p> <p>【技能】 ③子どもとの触れ合いに、発達に応じた関わりをいかすことができる。</p> <p>【知識・理解】 ④子どもの心身の発達の特徴を理解している。 ⑤子どもの健全な発達を支える大人や遊びの役割を理解している。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	はじめに 生まれつき持っている能力 乳幼児期の成長	1	<p>・プリント「子どもと共に育つ」に取り組む。 (教科書 p 34～35 の写真も見ながら) ※生活学 N a v i p 26～も参考にする。</p> <p>・教科書 p 36～37 を読み、プリント「子どもの育つ力を知る① (No 1)」に取り組む</p>	課題プリント	① ④
第2回	心の発達 遊びの発達	1	<p>・教科書 p 39～40 を読み、プリント「子どもの育つ力を知る② (No 1)」に取り組む。</p> <p>・教科書 p 40～41 を読み、プリント「子どもの育つ力を知る② (No 2)」に取り組む。</p>	課題プリント	② ④ ⑤

※教科書の図や表などもしっかり見ながら、プリントに取り組みましょう。

・解答はクラスルームで配付しますので、各自確認してください。補足説明等は分散登校日の授業で行います。

・プリントは、なくさないようにファイルに綴じておいてください。

球磨工業高等学校 2 学年_建築科・建築コース「実習」シラバス (R4 1・2月分)

1. 単元 (出席番号1～10)測量実習 (出席番号11～20) 木材加工実習

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】 建築計画や木材加工の各専門分野に関する技術を教科書の書き取りをとおして、知識として習得させると共に、その作業を主体的に取り組める能力と態度を育てる</p> <p>【思考力, 判断力, 表現力等】 ・3点透視図・加工方法を身につけ、意欲的に取り組む。</p> <p>【学びに向かう力, 人間性等】 ・計画を立て、実施し、取組を繰り返ることができる。</p>	<p>【知識・技能】 ① 透視図の基本的な知識・技能を理解し、作図することができる。 ② 棒墨屋根の勾配を理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ③ 3点透視図を応用し、お越し絵を作図することができる。 ④ 棒墨屋根を説明でき、完成まで導くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤ 計画を立て、実施し、取組を振り返ることができる。</p>

4. 授業計画

授業回	時間数	出席番号1～10			出席番号11～20			評価方法
		学習項目	学習内容	評価規準	学習項目	学習内容	評価規準	
第1回 (2/2)	3時間	棒墨屋根について	建築実習2 P131 [1] 平勾配の図を描くから、P133まですべてレポートノートに書取る (P132の図5とP133の表1は書かなくてもよい。	② ④ ⑤	3点透視図について	前回の実習で実施したお越し絵の作成。課題は自分のイニシャルとします。アルファベット2文字のお越し絵を作成してください。	① ③ ⑤	課題 レポート ノート提出
第2回 (2/9)	3時間	対面授業のため、通常のシラバスの通り						

球磨工業高等学校 2学年_建築科・建築コース「製図」シラバス

使用教材 教科書:建築設計製図(実教出版)

1.単元 第3章 建築の設計製図

2.単元の目標	3.評価規準
<p>【関心・意欲・態度】 ①服装、準備(製図道具等)は十分で、作業内容に興味関心を持ち、意欲的に取り組む。</p> <p>【思考・判断・表現】 ②製図における問題を発見し、自ら考え、解決することが出来るとともに、その成果を表現する。</p> <p>【技能】 ③製図に関する基礎的な技術を身につけ、実際の作業を適切に処理する。</p> <p>【知識・理解】 ④手書きによる製図について、正しい知識及び手順を理解し、その技術の必要性を認識する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ①服装、準備(製図道具等)は十分で、作業内容に興味関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ②製図における問題を発見し、自ら考え、解決することが出来るとともに、その成果を表現できる。</p> <p>【技能】 ③製図に関する基礎的な技術を身につけ、実際の作業を適切に処理することができる。</p> <p>【知識・理解】 ④手書きによる製図について、正しい知識及び手順を理解し、その技術の必要性を認識することができる。</p>

4.授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価基準
第1回	平家建専用住宅の計画(床伏図)	1	教科書(p77~p78、製図例 2-4) ○床伏図の手書き製図	・授業への取組態度 ・課題への興味関心	① ② ③ ④
		2	教科書(p79、製図例 2-4) ○天井伏図の手書き製図		
第2回	平家建専用住宅の計画(天井伏図)	3	教科書(p79、製図例 2-4) ○天井伏図の手書き製図	・課題の発見と解決能力	
		4	教科書(p79~、製図例 2-4) ○天井伏図の手書き製図		

球磨工業高等学校 2 学年 建築科・建築コース「建築構造」シラバス (1 月分)

使用教材 教科書：建築構造 (実教出版)

資料：課題プリント (classroom へ添付)

1. 単元 第 4 章 鋼構造

1. 構造の特徴と構造形式

2. 鋼と鋼材

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鋼構造に関する基礎的な知識を習得する。 鋼についての知識を習得する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用される建築材料に要求される性能をふまえ、鋼構造の成り立ちを表現する。 鋼の分類を習得する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指示に従い、まとめる力、繰り返し書く力。 	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 鋼構造の特徴を理解する。 鋼構造の構造形式を理解する。 鋼について理解する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 鋼構造の特徴を生かし、実際にどのような建築物があるか説明できる。 鋼を分類ごとに表記できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 指示通りに丁寧な字でまとめ、繰り返し書けているか。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価基準
第 1、2 回	1. 構造の特徴と構造形式	1	○鋼構造の特徴 ・教科書(p212)・課題プリントを使用した各自学習	・分散登校解除後の初授業時にノート回収後、確認	① ⑤
		1	○鋼構造の構造形式 ・教科書(p213)・課題プリントを使用した各自学習		② ④ ⑤
第 3、4 回	2. 鋼と鋼材	1	○鋼について ・教科書(215)・課題プリントを使用した各自学習	・分散登校解除後の初授業時にノート回収後、確認	③ ⑥
		1	○鋼の分類 ・教科書(p215)・課題プリントを使用した各自学習		⑤ ⑥

球磨工業高等学校 2 学年_建築科・建築コース「建築計画」シラバス（1～2 月分）

使用教材：教科書 建築計画（実教出版）

1. 単元 第6章 建築の移り変わり 1 節 日本の建築・2 節西洋の建築（古代から近世まで）

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 仏寺建築の歴史の移り変わりや、建築物の特徴を理解する。</p> <p>(2) 都市の歴史の移り変わりや、特徴を理解する。</p> <p>(3) 西洋建築の歴史の移り変わりや、建築物の特徴を理解する。</p> <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <p>(4) 教科書を読み取り、各種建築物の特徴を表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <p>(5) 計画を立て課題を実施し、取組をふり返る。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①仏寺建築の歴史の移り変わりや、建築物の特徴を理解できる。</p> <p>②都市の歴史の移り変わりや、特徴を理解できる</p> <p>③西洋建築の歴史の移り変わりや、建築物の特徴を理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>④教科書を読み取り、各種建築物の特徴を課題プリントに当てはめて記入することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>⑤計画を立て課題を実施し、取組をふり返ることができる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	仏寺建築	1	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P248を読む ノートにまとめる。 課題プリント②を解く 	<ul style="list-style-type: none"> ノートの記入 課題プリントの記入 開校後の確認テスト 	①④⑤
		2	《家庭学習》 <ul style="list-style-type: none"> 教科書P249を読む 課題プリント②を解く 	<ul style="list-style-type: none"> 課題プリントの記入 開校後の確認テスト 	①④⑤
		3	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P251を読む ノートにまとめる。 課題プリント③を解く 	<ul style="list-style-type: none"> ノートの記入 課題プリントの記入 開校後の確認テスト 	①④⑤
第2回	都市	4	《家庭学習》 <ul style="list-style-type: none"> 教科書P252～253を読む ノートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ノートの記入 開校後の確認テスト 	②④⑤
第3回	西洋の建築	5	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P255～257を読む ノートにまとめる。 課題プリント④を解く 	<ul style="list-style-type: none"> ノートの記入 課題プリントの記入 開校後の確認テスト 	②③⑤
		6	《家庭学習》 <ul style="list-style-type: none"> 教科書P258～259を読む 課題プリント⑤を解く 	<ul style="list-style-type: none"> 課題プリントの記入 開校後の確認テスト 	②③⑤

熊本県立球磨工業高等学校 2年建築科「建築構造設計」シラバス (1/28-2/11)

1. 単元 第3章 2 断面の性質

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 断面の各性質について理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 断面一次モーメント、図心 (復習) 断面二次モーメント (復習+新しい分野) 断面係数 (新しい分野) 断面二次半径 (新しい分野) <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各性質を計算する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学んだことを応用に結びつける。 	<p>【知識・技能】</p> <p>①断面の各性質について理解できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 断面一次モーメント、図心 断面二次モーメント 断面係数 断面二次半径 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>②各性質を計算できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>③例題を元に応用問題を解くことができる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
1 / 2 8 ① A 授業 T 自学	断面一次モーメント 図心	1	・課題プリント① (教P105) に取り組む (授業の復習)	課題プリント	① ②
1 / 3 1 ② A 自学 T 授業	断面二次モーメント (長方形断面)	2	・課題プリント② (教P107) に取り組む。(授業の復習)	課題プリント	① ②
2 / 4 ③ A 授業 T 自学	断面二次モーメント (H形断面、円形断面)	3	・課題プリント③ (教P109) に取り組む。	課題プリント	① ②
2 / 7 ④ A 自学 T 授業	断面係数	4	・課題プリント④ (教P110) に取り組む。	課題プリント	① ②
2 / 1 1 ⑤ A 自学 T 自学	断面二次半径 応用問題	5	課題プリント⑤ (教P111) に取り組む。	課題プリント	① ② ③

5 備考

解答は順次クラスルームにアップします。

課題は2月14日 (月) に回収します。

球磨工業高等学校 2 学年_建築科・伝統建築コース「実習」シラバス (R4 1・2月分)

1. 単元 (出席番号1～10)測量実習 (出席番号11～19) 木材加工実習

2. 単元目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】 水盛り・遣り方や木材加工の各専門分野に関する技術を教科書の書き取りをとおして、知識として習得させると共に、その作業を主体的に取り組める能力と態度を育てる</p> <p>【思考力, 判断力, 表現力等】 ・水盛り・遣り方や加工方法を身につけ、意欲的に取り組む。</p> <p>【学びに向かう力, 人間性等】 ・計画を立て、実施し、取組をふり返ることができる。</p>	<p>【知識・技能】 ① 水盛り・遣り方の手順を理解できる。 ② 棒墨屋根の規矩術を理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ③ 水盛り・遣り方の手順をレポートにまとめ、わかりやすく表現できる。 ④ 棒墨屋根を説明でき、完成まで導くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤ 水盛り・遣り方について創意工夫をこらして意欲的にレポートをまとめることができる。木材加工においても率先して墨付けや、加工に取り組める。</p>

4. 授業計画

		出席番号 1～10			出席番号 11～19			
授業回	時間数	学習項目	学習内容	評価規準	学習項目	学習内容	評価規準	評価方法
第1回 (2/3)	3時間	水盛り 遣り方	【建築実習2】 P63～67を レポートノートに まとめる。	① ③ ⑤	棒墨屋根	【大工さしがね術】 P31、38、44、45を レポートノートに まとめる。	② ④ ⑤	レポート ノートの 提出
第2回 (2/10)	3時間	対面授業のため、通常のシラバス通り						

球磨工業高等学校 2学年_建築科・伝統建築コース「製図」シラバス

使用教材 教科書:建築設計製図(実教出版)

1.単元 第3章 建築の設計製図

2.単元の目標	3.評価規準
<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>①服装、準備(製図道具等)は十分で、作業内容に興味関心を持ち、意欲的に取り組む。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>②製図における問題を発見し、自ら考え、解決することが出来るとともに、その成果を表現する。</p> <p>【技能】</p> <p>③製図に関する基礎的な技術を身につけ、実際の作業を適切に処理する。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>④手書きによる製図について、正しい知識及び手順を理解し、その技術の必要性を認識する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>①服装、準備(製図道具等)は十分で、作業内容に興味関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>②製図における問題を発見し、自ら考え、解決することが出来るとともに、その成果を表現できる。</p> <p>【技能】</p> <p>③製図に関する基礎的な技術を身につけ、実際の作業を適切に処理することができる。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>④手書きによる製図について、正しい知識及び手順を理解し、その技術の必要性を認識することができる。</p>

4.授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価基準
第1回	平家建専用住宅の計画(立面図)	1	教科書(p69～p71、製図例 2-3) ○立面図の手書き製図	・授業に取り組む態度 ・課題への興味関心 ・提出物の完成度 ・課題の発見と解決能力	① ② ③ ④
		2	教科書(p69～p71、製図例 2-3) ○立面図の手書き製図		
3		教科書(p69～p71、製図例 2-3) ○立面図の手書き製図			
4		教科書(p69～p71、製図例 2-3) ○立面図の手書き製図			

熊本県立球磨工業高等学校 2年建築科「建築構造設計」シラバス (1/28-2/11)

1. 単元 第3章 2 断面の性質

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 断面の各性質について理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 断面一次モーメント、図心 (復習) 断面二次モーメント (復習+新しい分野) 断面係数 (新しい分野) 断面二次半径 (新しい分野) <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各性質を計算する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学んだことを応用に結びつける。 	<p>【知識・技能】</p> <p>①断面の各性質について理解できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 断面一次モーメント、図心 断面二次モーメント 断面係数 断面二次半径 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>②各性質を計算できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>③例題を元に応用問題を解くことができる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
1 / 28 ① A 授業 T 自学	断面一次モーメント 図心	1	・課題プリント① (教P105) に取り組む (授業の復習)	課題プリント	① ②
1 / 31 ② A 自学 T 授業	断面二次モーメント (長方形断面)	2	・課題プリント② (教P107) に取り組む。(授業の復習)	課題プリント	① ②
2 / 4 ③ A 授業 T 自学	断面二次モーメント (H形断面、円形断面)	3	・課題プリント③ (教P109) に取り組む。	課題プリント	① ②
2 / 7 ④ A 自学 T 授業	断面係数	4	・課題プリント④ (教P110) に取り組む。	課題プリント	① ②
2 / 11 ⑤ A 自学 T 自学	断面二次半径 応用問題	5	課題プリント⑤ (教P111) に取り組む。	課題プリント	① ② ③

5 備考

解答は順次クラスルームにアップします。

課題は2月14日 (月) に回収します。

球磨工業高等学校 2 学年「日本建築」シラバス (2022.1~2)

1. 単元 第3章 (3) 草庵風茶室と数寄屋風書院造

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅建築の各様式の内容について学ぶ。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅建築の変化について総合的に理解し、住宅建築の魅力を表現する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本建築に対する興味関心を高め、新しい学習に自主的に取り組む。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①住宅建築を構成する基礎知識を理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ②寝殿造から書院造への変化と、茶室の建築が住宅建築に及ぼした影響を表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③日本建築に対する興味関心を高め、新しい学習に自主的に取り組むことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
1	草庵風茶室	1	教科書 P102~P105 草庵風茶室の概要を学ぶ	教科書を熟読し、ワークシートにまとめる ・ 考査後提出	① ③
2	〃	1	Classroom で資料を閲覧して、 草庵風茶室の魅力を探る	ワークシートの裏面に基づき考えを表現する ・ 考査後提出	② ③
3	数寄屋風書院造	1	教科書 P105~108 数寄屋風書院造の概要を学ぶ	教科書を熟読し、ワークシートにまとめる ・ 考査後提出	① ③
4	〃	1	Classroom で資料を閲覧して、 数寄屋風書院造の魅力を探る	ワークシートの裏面に基づき考えを表現する ・ 考査後提出	② ③
5	試験対策学習	2	<ul style="list-style-type: none"> 寝殿造⇒書院造の変化について 豪華な書院造と武士階級の住宅の書院造について 草庵風茶室と数寄屋風書院造 	・ 定期考査で検証	① ② ③

球磨工業高等学校 2 学年_建築科・伝統建築コース「伝統技法」シラバス (R4 1・2 月分)

使用教材 教科書：大工さしがね術 (オーム社)

1. 単元 (1) 木工

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大工に必要な基礎知識を習得する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法、角度（勾配）の知識を習得する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来設計を立て、実施する。また、更なる興味を持ち、意欲的な態度を示す。 	<p>【知識及び技能】</p> <p>① 大工に必要な基礎知識（規矩術、さしがね術）を理解できている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>② 寸法、角度（勾配）が変化しても理解し書くことができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>③ 将来設計を立て、実施する。また、更なる興味を持ち、意欲的な態度を示すことができる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	学 習 内 容	評 価 方 法	評価基準
第一回	四方転び いすにつ いて	下記内容をノートに書取る 「大工さしがね術」 P77、78、87、92	レポート	① ②
第二回	課題製作	対面授業のため、通常のシラバス通り	作品提出	① ② ③